

2019年度事業報告

1. 基本方針

日本包装学会の目的は、学会会則にあるように、包装にかかわる各種材料、加工、機械、システム、製品、検査、流通、デザイン、心理、環境、社会等の科学及び技術の進展をはかり、もって学術文化の向上と産業の発展に寄与することにあります。

2019年度は、これまでの活動実績を踏まえ、「包装学の深化と体系化、社会の要請に応える開かれた学会づくり、包装分野を担う次世代人材の育成」に力を注いできました。包装学の深化と体系化に向けた取り組みとして、2018年度事業で刊行が完了した包装学基礎講座のピーアールを行うとともに、日本包装学会誌に「総説」を継続して掲載しました。また、学会創立30周年記念事業の一環として、研究委員会「若手の会」による、包装用語集の刊行準備を進めました。加えて、Webページの情報更新を適時に行うことで、学会活動に理解を深めていただくなど、学会の活性化につなげることができました。

2019年度は大会を東京で開催し、参加登録者数240名、口頭発表27件、ポスター発表

19件、更に、第13回国際包装セミナー(IPS'19)を併催し、成功裏に終えることができました。さらに、シンポジウムの開催、学会誌の刊行(6冊)の他、学会Webページ充実による情報発信機能の強化も引き続き行ってまいりました。

本年度末には、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日本包装学会においても活動を縮小せざるを得ない事態となりました。今後、With Coronaの社会において、学会活動を見直す必要がでてくると考えますが、会員の英知を結集して影響の最小化に努める必要があります。

2. 学会運営の経過

2-1. 通常総会

- ・ 日時:2019年7月12日(金) 9:30～
- ・ 場所:東京大学 弥生講堂
- ・ 議決権者数:44、委任状数:154、有効議決件数:198

2-2. 理事会

- ・ 第86回:2019年6月3日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第87回:2019年7月12日 東京大学農学部 弥生講堂会議室
- ・ 第88回:2020年2月4日 東京海洋大学 越中島会館

2-3. 会長補佐会議

- ・ 第92回:2019年4月9日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第93回:2019年11月6日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第94回:2020年1月 メール開催

3. 各委員会の活動

3-1. 編集委員会

(1)学会誌へ下記の特集を掲載した。

- ・ プラスチック製容器包装の廃棄問題とリサイクルシステム代替技術の現状(Vol.28 No.2)
- ・ アクセシブルデザイン(Vol.28 No.3)
- ・ 緩衝包装設計に関する研究動向(Vol.28 No.4)
- ・ IPS'19 Regulatory Trends for Plastic Packaging and Protection of the Marine Environment (Vol.

28 No.5)

- ・ 食品容器包装の安全性規則① ～食品衛生法改正～(Vol.28 No.6)
- ・ 食品容器包装の安全性規則② ～食品衛生法改正～(Vol.29 No.1)

(2)その他

- ・ 女性の編集委員が増え、今までとは違う視点での議論も活発になった。
- ・ 報道機関に年次大会に関する情報を提供することにより、同内容を学会誌に紹介し、大会運営委員会及び広報委員会と積極的に連携を図った。
- ・ 論文投稿を促進した。

3-2. 企画委員会

(1)シンポジウムを以下の通り3回開催した。

- ・ 2019年6月20日 第79回
「食品包装における最新特許情報(動向)」(5題)」
- ・ 2019年11月21日 第80回
「使用しやすい医薬品包装の実現に向けたアプローチ(5題)」
- ・ 2020年2月19日 第81回
「海洋プラスチック問題の理解と、プラスチック包装材料の環境対応技術を考える(5題)」

(2)企画委員会を4回開催した(第128～131回)。

- ・ 2019年5月30日、10月3日、12月5日(+交流会)
- ・ 2020年2月6日(2020年度向け)

3-3. 研究委員会

4つの研究会(バリア材料、輸送包装、包装とIoT、若手の会)が活動しており、それぞれの活動状況は次のとおりである。

(1)バリア材料研究会

2020年3月2日(月)に王子「北とぴあ」にて『バリア包装技術と食品ロス削減』をテーマとする第25回バリア材料研究会の開催を企画も、コロナウイルス感染拡大のため、開催延期。

(2)輸送包装研究会

輸送包装ディスカッション2019開催完了(2019年9月27日、日通 NEC ロジスティクス)。
合計19名参加、輸送包装技術者育成について参加者同士で議論、包装試験室を見学。

(3)包装とIoT 研究会

具体的なテーマ見出せず、今期は活動実績無し。

(4)若手の会

包装用語集の刊行準備。第1回編集委員会を2019年7月11日に実施。また、第2回編集委員会(メール審議)を2020年1月末に実施。2021年7月発刊を目標に準備中。

3-4. 大会運営委員会

日本包装学会第28回年次大会を、2019年7月11日と12日の2日間にわたって東京大学弥生講堂にて開催した。参加登録者数240名、口頭発表27件、ポスター発表19件、更に、第13回国際包装セミナー(IPS'19)を併催し、盛況のうちに大会を終えることができた。

- ・ 第217回 2019年4月10日 東京海洋大学
- ・ 第218回 2019年6月11日 東京海洋大学
- ・ 第28回年次大会
 - 会期:2019年7月11日、12日
 - 会場:東京大学弥生講堂他
 - 参加登録者数:240名
 - 発表数:46件(口頭27件、ポスター19件)

- ・ 第13回国際包装セミナー:～プラスチック包装の法規制動向と海洋環境保全～
 - Mr. Hasso von Pogrell, Managing Director, European Bioplastics
 - Ms. Christina Chun-King Ho, Senior Specialist, Department of Waste Management
 - Environmental Protection Administration Executive Yuan, R.O.C.
 - 石川雅紀 神戸大学経済学部 教授
- ・ 第219回 2019年9月17日 東京海洋大学
(以降 第29回年次大会準備)
- ・ 第220回 2019年10月16日 東京海洋大学
- ・ 第221回 2019年11月14日 東京海洋大学
- ・ 第222回 2019年12月10日 東京海洋大学
- ・ 第223回 2020年1月9日 キリンビール(株)横浜工場
- ・ 第224回 2020年2月12日 東京海洋大学
- ・ 第225回 2020年3月10日 メール審議

3-5. 広報委員会

(1)インターネット関連

- ・ 学会主催催事(シンポジウム・年次大会・研究会)の開催案内と参加受付を Web ページにて行い、会員に告知メールを発信した。
- ・ 下記の事項について Web ページの公開、もしくは公開内容の改訂を実施した。
 - 随時:協賛・後援している催事
 - 学会誌の発行時:最新号の目次
 - 年次大会終了時:維持会員リスト、過去の受賞者リスト、事業報告、事業計画
 - 年末:学会表彰授賞者募集案内
 - 年度の切り替わり時期:学会誌掲載後1年以上経過した論文
- ・ 研究会の概要紹介を研究会一覧ページに掲載した。

3-6. 国際交流委員会

(1)IPS'19開催

「Regulatory Trends for Plastic Packaging and Protection of the Marine Environment (プラスチック包装の法規制動向と海洋環境保全)」と題して、海外から2名、国内から1名の講師を招聘し、講演及びパネルディスカッションを行った。

- ・ Mr. Hasso von Pogrell 「Bioplastics in a Circular Economy – Myths and Facts, Opportunities and Threats」
- ・ Ms. Christina Chun-Ling Ho 「From Plastic Management Towards a Plastic Free Ocean in Taiwan」
- ・ Prof. Masanobu Ishikawa 「Mapping of Objectives and Measures on Marine Plastics Pollution Problems」

(2)その他

- ・ 「海外情報」の学会誌掲載
- ・ 海外の研究者から学会誌への投稿推進

3-7. 学会賞等選考委員会

2020年3月14日から23日までの期間、学会賞等選考委員12名で「2019年度日本包装学会学会賞等授賞候補者推薦」の審議を行い、次のとおり決定した。

(1)日本包装学会賞

該当者無し

(2)日本包装学会奨励賞

該当者無し

(3)日本包装学会論文賞

高山 崇 神戸大学、キューピー(株)

斎藤 勝彦 神戸大学

東山 哲 レンゴー(株)

論文タイトル:箱サイズを限定しないO2O1形式段ボール箱の圧縮強度推定式

(4)日本包装学会功労賞

三春 憲治

永澤 茂

3-8. 財務委員会

2019年度決算及び2020年度予算の作成。毎月の財務状況確認。

3-9. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として学会活動を運営した(詳細 学会運営の経過参照)。

以上のとおり、報告致します。

椎名 武夫 (会長)
田中 幹雄 (副会長)
中嶋 隆勝 (副会長)
渡邊 豊 (編集委員長)
北澤 裕明 (企画委員長)
川口 和晃 (研究委員長)
細田 友則 (大会運営委員長)
天野 勉 (広報委員長)
宮田 剣 (国際交流委員長)
竹村 彰夫 (学会賞等選考委員長)
東山 哲 (財務委員長)
牧 伸行 (総務委員長)
野田 治郎 (監事)
広瀬 和彦 (監事)